

平成30年度大阪府アーチェリー連盟強化部 成年強化方針

1. 今年度の方針

- ①. 第73回国民体育大会出場並びに上位入賞を目指した選手強化を行う。
- ②. 郷土愛を育み、大阪のアーチェリー競技の発展に寄与できる選手育成を行う。
- ③. 大阪府代表として自覚と責任を養い、少年の模範となる選手育成を行う。
- ③. 少年強化と並行して強化事業を行う。
- ④. チームリーダーとして活躍できるリーダーシップスキルの向上を目指した選手育成を行う。
- ⑤. 全国、世界を意識した競技レベルの向上。
- ⑥. 強化事業参加の費用については、強化費の不足により応分の受益者負担は覚悟しなければならないが、強化部公認記録会などの運営を選手自ら手伝い負担の軽減に努める姿勢を養う。
- ⑦. 強化部練習拠点を岸和田市立産業高校と浜寺公園アーチェリー練習場とする。

2. 強化選手について

- ・ 国体最終選考会において、全日本アーチェリー連盟のナショナルチームAメンバーを除いた上位成績男女各3名、計6名
- ・ 全日本アーチェリー連盟のナショナルチームAメンバーは、国体最終選考会の成績にかかわらず、その選手が強化指定を希望する場合は強化選手とする。
- ・ 前年度少年男女の国体代表の内3年生で卒業後も大阪府で継続して競技活動ができる者で、その意思がある者。
- ・ その他、強化部が推薦する若干名を強化選手にする。

3. 強化期間 国体最終選考会から翌年の国体最終選考会まで

4. 平成30年度強化事業の概要

- ・ 別添強化部事業日程による

5. 強化スタッフ

強化部長 藤川毅

担当理事 荒木正人、山田秀明、嶋伸佳、小橋口圭彦

強化委員 守屋龍一、守屋由紀子、吉永弘幸、山下紗代、山本和樹